

学校経営の基本方針

～今一度、足元を固める。全教職員で「当たり前」にできる子を育成する。～

本校はこれまでも教職員の熱意や創意工夫により、自ら考え意欲的に活動できる子どもの育成に力を注ぎ、一定の成果を上げてきた。一方で、困難を乗り越え最後までやり抜く力、よりよい人間関係を築く力、あいさつやきまりを守る態度に課題が残った。「明野の子どもを語る会や年度末反省会議」での熟議から、令和7年度の明野小学校は今一度、足元を見つめなおして基本に立ち返る。全教職員の共通理解の下、同じ方向を向いて「当たり前」にできる子どもを育成することで、未来の社会を創る人づくりを実践する。

児童の実態

- 素直でやさしい
- 異学年でも仲良くできて協働できる
- 課題に向かって意欲的に頑張れる
- 地域行事に参加している
- あいさつやきまりを守ろうとする意識
- 責任をもって最後までやり抜く力
- よりよい人間関係を築く力
- 自信をもって堂々と意見を述べる

学校教育目標

未来社会を築く力を身に付ける
児童の育成

- 【知】 進んで学ぶ子
- 【徳】 思いやりの心をもつ子
- 【体】 じょうぶな体をつくる子

家庭・地域の願い

- 自分の命も人の命も大切にできる子
- 素直でやさしく思いやりのある子
- 自分で考え正しい判断のできる子
- 夢に向かってチャレンジできる子
- 地域の活動に積極的に参加する子

【育成を目指す資質・能力】 目指す子ども像

- 【協働性】 あいさつができ、人を大切にする子
- 【主体性】 自分の考えをもち、進んで表現する子
- 【実践力】 あきらめずに、チャレンジし続ける子



明野中学校区の目指す15歳の姿

「夢に向かって、ともに歩む子」

	【協働性】子どもの姿	【主体性】子どもの姿	【実践力】子どもの姿
高学年 (4～6年)	いつでも誰にでも元気なあいさつができる 人を大切にできる	自分の考えをもち、進んで表現できる 守ろう8か条を身に付けている	あきらめずに、チャレンジし続ける 楽しく身体を動かせる
低学年 (1～3年)	元気なあいさつができる いじめ、いじわる、いやがらせをしない	自分の考えをもち、表現しようとする 守ろう8か条を守ろうとする	失敗をおそれずに、チャレンジできる 元気に遊べる

目指す子ども像の実現に向けた取組 〈教職員の日常の指導支援内容〉

【協働性】 あいさつができ、人を大切にする子	【主体性】 自分の考えをもち、進んで表現する子	【実践力】 あきらめずに、チャレンジし続ける子
1あいさつの徹底(生活のきまりの徹底) 2児童のよさを認め励まし居場所のある学級経営 3いじめを許容しない学級の雰囲気づくり 4深い児童理解から日常的な教育相談 5道徳科の授業の質的向上	1「見通す、決定する、協働する、振り返る」授業改善 2学びの土台づくり(守ろう8か条の徹底) 3目安の時間を守ったうちガクの徹底 4タブレット端末の効果的な活用 5特別な支援を必要とする児童への適切な支援	1運動に意欲的に取り組む態度の醸成 2学校行事や児童会活動の効果的な推進 3生活科・総合的な学習の時間の充実 4健康安全管理の徹底(熱中症、感染症等) 5明野中エリア活動の充実

日常の指導支援内容に対する評価指標

☆児童アンケート(肯定的回答を85%以上)	☆児童アンケート(肯定的回答を85%以上)	☆児童アンケート(肯定的回答を85%以上)
「自分にはよいところがある」 「先生は自分のよいところを認めてくれる」 「いじめをしないで楽しく生活できた」 「困った時、学校にいる大人に相談できた」 「校内生活のきまりを守れた」	「学び方を自分で決めて課題に取り組んだ」 「友達と交流し、よりよい学びができた」 「タブレットを効果的に使えた」 「守ろう8か条を守れた」 「時間を守ってうちガクができた」	「夢や目標をもち、チャレンジできた」 「やりたいことが実現できた」 「元気に遊べた」

全教職員の行動指針

- (1)チャレンジし続ける姿を
- (2)学び続ける姿勢を
- (3)全教職員が一枚岩に
- (4)すべての人に誠意ある対応を
- (5)常に最悪を想定して
- (6)不祥事のない職場を
- (7)心身ともに健康な身体を

新たな課題に柔軟に、積極果敢に挑戦
子供にとって最重要な教育環境は教職員
学校は組織体、ベクトルを合わせて
家庭・地域・関係諸機関との連携(コミスク、町内会)
初動を迅速に、事実を正確に報連相・記録
交通違反、体罰、不適切な行為はしない
毎月2回定時退勤、18時半施錠の日常化